

コラム

## 学びを深める「ふりかえり」

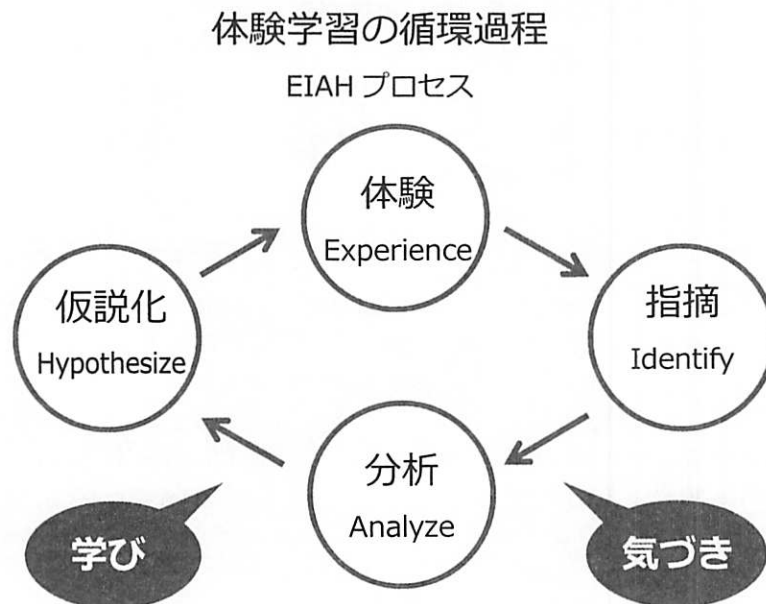
シチズンシップ共育企画 代表 川中大輔

「いろいろな人をお願いをするなかで、コミュニケーション能力がついた。」「いい経験になった。これからも地域のためにできることをしていこうと思った。」「〇〇さんの話が印象的だった。」

「ふりかえり」の時間では、こうした感想文が綴られて終わることが少なくありません。しかし、これでは体験を通じた学びを明らかにしたことにはなりません。例えば、上記の感想に対しては、「いろいろな人」の内、どのような人とのどのような体験が学習者にとって特に意味あるものだったのか、それはなぜなのか。習得したとする「コミュニケーション能力」とは、どのような場面でどのような人とどのような関係をつくることを示しているのか。

「いい経験」や「印象的だった」と特に自分が感じたのはどのような場面で、それはなぜなのか。「していこう」と思うこととして、具体的に何をどのようにまず試みるのか。こうした掘り下げが不十分だからです。

学びを掘り下げるには「体験学習の循環過程」（星野 2005）を経ることが求められます。



具体的な体験のなかで感じたことを手がかりに、自己／他者／社会との間で何が起こったのかを観察して自分にとって重要な状況を「指摘」し、なぜ／どのようにそのことが起こったのかを「分析」する。そして、どのような実践や探究に取り組むことが学びを深化させるかという明確な「仮説」を構築した上で、次なる体験でその仮説を試行検証していくこ

とを指します。「ふりかえり」は、実践活動後に行うものだと思われがちですが、企画準備段階や活動期間中においてもこのサイクルを回すことで、鮮度／精度の高い学びを掘り起こすことが可能になります。

「ふりかえり」は掘り起こす学びの種類によって分けられ、一つは知識や技能の習得を確かめる「認知的なふりかえり (cognitive reflection)」であり、もう一つは自らの在り方や態度、価値観や視点等の変容を確かめる「感情的なふりかえり (affective reflection)」です (ワッツ 2010)。学びを深めるにあたっては、学びの広がりも意識して体験を吟味していけるとよいでしょう。

Collier & Williams (2005) は、日誌や「ふりかえり」シートを「書く (writing)」だけではなく、口頭発表や学級討議等で「話す (telling)」ことや相互インタビューやロールプレイなどの「活動 (activities)」に取り組むこと、写真や動画を用いたエッセイやコラージュ制作など「マルチメディア (multimedia)」を用いて表現することを「ふりかえり」の方法として示しています。こうした複数の方法を用いて、一つの体験に様々なアプローチで切り込んでいくことが、学びの掘り起こしにもつながっていきます。もちろん、学びの全てが表現されるとは限りません。「表し尽くせていない」ことを感じることもまた、体験と向き合い続けることを促すこととなります。

「ふりかえり」では、学習者間の「わかち合い」も重要な意味を有しています。他者に語るなかで学びの明確化／組織化が進み、また、他者からの問いかけ合いやフィードバックによる学びの深化も期待できます。加えて、経験による成長／変容を遂げた他者としての出会い直しの契機にもなり、学習者間の相互理解の深まりをもたらします。

サービス・ラーニングの鍵概念は互惠 (reciprocity) と省察 (reflection) だとされています (ジャコビー2009)。「どういう活動をするか？」という体験のデザインだけではなく、「どのようにふりかえるか？」という省察のデザインにも力を注ぐことによって、サービス・ラーニングの学びは機能することになります。

#### 参考文献

- ・星野欣生 2005 「体験から学ぶということ-体験学習の循環過程」、津村俊充・山口真人編『人間関係トレーニング [第2版]』ナカニシヤ出版、pp. 1-6
- ・ジャコビー、バーバラ 2009 「こんにちの高等教育におけるサービスラーニング」山田一隆訳、桜井政成・津止正敏編著『ボランティア教育の新地平』ミネルヴァ書房、pp. 51-79
- ・Peter J Collier and Dilafruz R. Williams., 2005, "Reflection in Action: The Learning-Doing Relationship", Christine M. Cress, Peter J. Collier, Vicki L. Reitenauer and Associates, *LEARNING THROUGH SERVING*, VIRGINIA: Stylus Publishing, pp. 83-97.
- ・ワッツ、マージット・ミサンギ 2010 「サービスラーニング」、サラ・コナリー／マージット・ミサンギ・ワッツ『関係性の学び方』山田一隆・井上泰夫訳、晃洋書房、pp. 89-160